

# 九州地協第23回定期委員会を開催！

## 許斐議長、上野事務局長体制2期目をスタート

JR連合九州地協（JR九州労組、JR西労組福岡地本、貨物鉄産労九州地本、JR九州バス労組）は、9月20日（土）、福岡市「朝日ビル会議室」において、第23回定期委員会を開催した。

議長に大久保委員（JR九州労組）を選出の後、常任委員会を代表し、許斐議長（JR九州労組中央執行委員長）は、『アベノミクスの「新成長戦略」の目玉である雇用法制の規制緩和、労働者保護ルールの改悪阻止にむけ、ナショナル連合やJR連合議員懇と連携を図り取り組みを強化していかなければならない。また、「安全最優先」の取り組みについては、労働災害事故ゼロに向けて

情報の共有化を図ることが重要、さらに「政治的政策課題の実現」の為には、来春の統一地方選挙での推薦候補者全員の当選に向けて一丸となって取り組みを展開していきたい。そして、「2015春季生活闘争」においては、消費税増税や物価上昇など厳しい環境の中、生活の維持、向上の為、責任と自覚を持って取り組んでいきたい。」と挨拶を行った。

続いて、連合九州ブロック（高島代表幹事）、民主党福岡県連（野田副代表:参議院議員）、社民党福岡県連（木村副代表）、交運共済（福田九州事業本部長）、JR連合（松岡会長）から激励と連帯の挨拶を受けた。



【男女平等参画について発言する吉田委員】

方針には、「安全の確立」「組織の拡大と充実・強化、民主化闘争完遂」「政策実現」「統一地方選挙の勝利」を運動の柱として掲げ、JR九州にグループ9単組目となる『JR九州鉄道営業労働組合』が結成されたことなどが報告された。

また、JR九州労組の鎗光委員、吉田委員など3名の委員から、政策や男女平等参画推進などについての発言があり、JR九州労組選出の許斐議長、上野事務局長他の役員体制を確認し、最後に貨物鉄産労を基軸に、九州における貨物の民主化完遂に向け、九州地協一丸となって引き続き支援していくことを再確認し、許斐元文議長の団結ガンバローで閉会した。



【取り組みの所信を述べる許斐委員長】

**政策・組織課題解決に向け一丸となって取り組む**